

## 沿革（開館以後）

昭和63（1988）年8月6日	高松市美術館開館（開館記念展「ベルギー王国リエージュ・美術館名画展」開催） 収蔵品図録Ⅰを刊行
平成元（1989）年	金曜日の夜間開館（9時～19時）を開始
平成2（1990）年	市制100周年記念展「松平家所蔵名宝展—明公を偲んで—」開催
平成5（1993）年	開館5周年記念展「讃岐漆芸の美展」開催 開館5周年記念事業として収蔵品図録Ⅱを刊行
平成6（1994）年4月25日	塩江町立美術館開館（開館記念展「熊野俊一ゆかりの作家展」開催）
平成10（1998）年	開館10周年記念展「ロダン展」開催 収蔵品図録Ⅲを刊行
平成11（1999）年	管理課、学芸課の2課を美術課に統合 美術館ボランティアcivi（シヴィ）の活動開始
平成12（2000）年	平日夜間開館（火～木曜日：9時～17時、金曜日：9時～19時）に移行
平成13（2001）年	平日（月～金曜日）夜間開館（9時30分～19時）に移行
平成14（2002）年	小中学生の常設展完全無料化を実施 「アートで遊ぼう！」事業開始
平成15（2003）年	「子どものアトリエ」事業開始 歴史資料館、市民文化センターなどと共同で収蔵品情報システムを導入
平成16（2004）年	開館15周年記念展「玉楮象谷展」開催
平成17（2005）年	塩江町合併により、塩江美術館を組織統合
平成19（2007）年	美術館あり方検討委員会発足（平成20年2月25日に提言書を提出）
平成20（2008）年	市の機構改革により、市長部局（市民政策部、国際文化・スポーツ局）に改組 20周年記念展「高松市美術館コレクション+（プラス）ひびきあう音・色・形」開催 「美術館学習」事業開始
平成21（2009）年	高松市立美術館（高松市美術館・塩江美術館）の今後の運営方針を策定 収蔵品図録Ⅳを刊行 「美術館の日」事業開始
平成22（2010）年	開館時間の見直しにより、9時30分～17時（但し、特別展開催期間中の火～土曜日〔祝日含む〕は9時30分～19時）に移行 高校生以下の観覧料無料化を実施 高松市美術館・塩江美術館の共通定期観覧券発行 瀬戸内国際芸術祭2010連携企画「森村泰昌モリエナーレ」高松コンテンポラリーアート・ アニュアルvol.01開催 「森村泰昌モリエナーレ／まねぶ美術史」美連協大賞「奨励賞」受賞
平成24（2012）年	1月から3月まで臨時休館し、空調設備等の省エネ改修工事を実施 「高松市美術館サポートショップ」事業開始 「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」美連協大賞受賞
平成25（2013）年	高松市美術館改修基本計画を策定 開館25周年記念展「チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち」ほか4展を開催 開館25周年記念コンサート「坂本龍一-Playing the Piano Tribute to Shinro Ohtake」開催 高松市美術館の改修基本設計・実施設計を行った（実施設計は平成26年4月まで）
平成27（2015）年1月	高松市美術館改修工事着手
平成28（2016）年3月26日	高松市美術館リニューアルオープン リニューアルオープン記念特別展「いま知りたい、私たちの『現代アート』展」を開催
平成30（2018）年	開館30周年記念展「京の美人画100年の系譜」ほか4展を開催 開館30周年記念イベント「三輪真弘による高松市美術館開館30周年記念祝賀演奏会」ほか4本開催 高松市創造都市推進局のFacebookにて情報発信 8月塩江美術館改修工事着手 収蔵品図録Ⅴを刊行 地域創造大賞（総務大臣賞）受賞
平成31（2019）年 平成31（2019）年4月2日	高松市美術館のFacebook・Instagramを開設 塩江美術館リフレッシュオープン リフレッシュオープン企画展「中井弘二郎展—feels through it—」を開催 「やなぎみわ 神話機械」美連協大賞受賞
令和2（2020）年	開館時間の見直しにより、9時30分～17時（但し、特別展開催期間中の金・土曜日は9時30分～19時）に移行 高松市美術館のYouTubeを開設、動画番組「おうちでアート」配信開始 高松市美術館のTwitterを開設 丸亀町商店街にランチギャラリーがオープン
令和3（2021）年	新型コロナウイルス感染症対策により、計77日間の臨時休館等を行った キャッシュレス決済システムを導入
令和4（2022）年	オランダのアムステルダム国立美術館に漆芸作品6点を貸出 エントランス活用事業を開始
令和5（2023）年	開館35周年記念展「フィンランドのライフスタイル」ほか3展を開催 開館35周年記念「特別企画 川島猛展」、「野村誠コンサート」を開催